# ひゅーまん ねっとわーく



# 2015年 1 月 発行/第60号

# 社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ぷれいすBeのご利用者の杉の子農園での作業				
左写真		右上写真	嶋﨑 安侑さん	
	三澤 奈々子さん 	右下写真(左から)	大田 愛美さん	山田 貴美子さん

# 平成27年 新年のご挨拶



社会福祉法人北摂杉の子会 <sup>なか</sup> <sup>むら</sup> せっ し 理事長 **中 村 節 史** 

新年のご挨拶を申し上げます。 (政治・経済の状況)

昨年末には「アベノミクス解散」と「衆議院 の総選挙」が行われましたが、とても不思議なこと でした。 政党間の建前とはいえ、現段階で「アベノミクスは成功だ」「アベノミクスは失敗だ」と論ずることにそれほどの意味があるとはとても思えません。

安倍さんたちは「アベノミクス」を特別の経済 政策のように喧伝していますが、少子高齢化の現 在の日本において、経済のデフレ構造を垂直的に インフレ構造に立ち上げようとすれば、マクロ的に は、誰がやっても現在のような経済政策になるか らです。劇薬を使いますから、当然かなりの副作 用が出ますし、特に第3の矢と呼ばれる成長戦略 は、環境だけは政府が整えますが、実際の経済 活動は民間が中心となって進める訳ですから、相 当な時間がかかります。国民全体で遮二無二やっ ても、副作用の治療に5年以上、成長戦略の骨肉 化には10年以上はかかる仕事です。

「弱肉強食ではない、安定した中間層の存在する日本型社会の再評価」「日本人の持っている慈しみの文化」「せっかく育てた日本型資本主義」を維持、拡大させていくには、保守、革新を問わず、国としてのかなりの粘りと辛抱が必要だと思います。

一方、政治家の宿命として小泉・竹中構造改革がそうであったように、安倍さんも道半ばで、アベノミクスの成功を大声で謳いそうですから、副作用の部分は治療できずに、マクロで成功、ミクロで失敗という道を歩みそうです。2015年の日本は、

表面的には凪のように見えて、底流では格差社会が静かに進んで行きそうな年なので、昨年に引き続き「油断のならぬ一年」という認識と覚悟が必要な年のようです。

# (社会福祉制度・政策の状況)

消費増税の先送り、低い経済成長、国の借金が1000兆円を超える環境下では、「社会保障費」への切り込みは避けられないことだと思いますし、又社会保障費が合理的に使われているかどうかという再点検は必要なことだとは思っています。その関連かもしれませんが、昨年から「社会福祉法人の在り方」についての論議が活発になっています。

要点は、社会福祉法人が補助金や税制優遇策を受けながら、本来社会福祉法人が果たすべき地域ニーズへの対応などが不十分の上に、同業の民間企業やNPO法人に比べて経営の近代化や透明化も遅れており、おまけに高齢者介護の分野の特別養護老人ホームなどでは、異常に高い収益と内部留保をあげているという指摘です。

私はかねがね「社会福祉法人の体質」については疑問と危惧を持っており、今回の厚労省での検討会の指摘を虚心坦懐に受け止めなければいけないと思っています。日本全体としては、まだ「措置費時代の経営」を引きずっている法人も多いのも事実だと思いますので、検討会の指摘については、十分検討する必要があると思っています。

しかしながら全国の社会福祉法人の大半が収益 的にも、人材確保の面からも四苦八苦しながら、 運営しているのも、又事実です。 高齢者介護の 方は良くわかりませんが、**障害者支援の社会福祉** 法人において、きちんとした利用者サービスを提供し、職員の処遇もしているところでは、高い収益が上がるような報酬体系には現在はとてもなっていません。

特に利用者のニーズが高いのにも関わらず、支 援の谷間にあるサービスに真摯に取り組んでいる 法人は本当につらい経営を強いられています。

社会福祉法人という制度を悪用して、法人を私物化し、物言わぬ利用者や職員を犠牲にして法外な利益を上げている法人には、きちんとメスを入れ、その経営者には、即刻退場してもらいたいと願っておりますが、今回の指摘が社会福祉費用をカットするいい口実になることをそれ以上に危惧しております。

2015年は報酬体系の改定の年に当たり、今後の福祉活動を左右する大切な年となりますので、今回の検討会の提言が、安易な一律カットに結びついたり、政治的に利用されないように、目を見開いている必要があると思っています。

そういう意味で2015年は、社会福祉法人が自己改革をするために「**頑張る年**」であり、社会的責任を果たすために「**踏ん張る年**」だと思っております。

#### (2015年の北摂杉の子会の活動)

このような日本の経済・社会や福祉を取り巻く状況の中で、北摂杉の子会の活動を進めるにあたり、この5年間を振り返ってみますと、第3次中期計画に盛られた活動は、数年にまたがるものが多く、又2015年の報酬改定をひかえ、国や地方自治体の支援施策がはっきりしなかったために、実現が遅れているものが多いのは、残念なことではありますが、一貫して、新年の挨拶、各年度方針で取り上げているものに

<法人全体の問題としては>

○利用者の高齢化に伴う、障害の重度化への対応

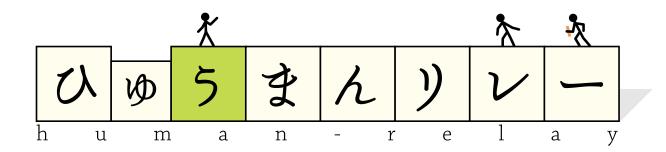
- ○利用者の働きの場と働き甲斐のある仕事
- ○障害者への虐待防止と支援における危機管理
- ○法人の社会的責任の自覚 の取り組み
- < 個別重要な取り組みとしては>
- ○強度行動障害の方に対する支援と生活の場の提供
- ○医療的ケアの必要な重症心身障害の方に対する 支援
- ○専門性とキャリアの必要な相談支援
- ○発達障がい児・者に対する支援の制度のない分 野での取り組み などがあります。

いずれも、当法人として、外すことのできない重要な取り組みであり、課題でありますので今年度も全力で取り組んでいきますし、来年度以降も引き続き取り組んでいく活動だと思っております。

特に < 個別重要な取り組み > の4つのテーマに つきましては、利用者や保護者のニーズが強く、 社会的にも大切な支援であるのですが、残念なが ら、支援の制度が十分ではないか、制度に乗っ ていないために、経営的にはとても大変な仕事 です。今回の報酬体系改定のポイントの一つだと 思っておりますが、これらについては、全国のどの 法人とも共通の悩みだと思いますので、全国の仲 間や行政の窓口の方たちともよく相談をして、支援 体制の強化を図っていきたいと思います。

最後になりますが、社会福祉法人北摂杉の子会は今年も、「官でもない、民でもない、公の役割を果たす法人」として、国民の税金を大切に使い、「法人の社会的責任」をしっかり果たしていく責務を持つ法人であることを自覚して、ご利用者、家族、地域の人たち、行政の方々と共に歩んでいく所存ですので、皆様方何卒よろしくお願い致します。







# 思うこと

なか むら りゅういち ろう 花の木農場 施設長 **中村 隆一郎**さんより

鹿児島県に行ったことがある人はそれなりに多くても、それは鹿児島市や指宿温泉のある薩摩半島を旅した人がほとんどで、対岸の大隅半島経験者はぐっと少なくなります。「本土最南端」と地元自治体が好んでキャッチコピーに使う佐多岬(野生の馬で知られる都井岬と間違われることも多い!)も、とかく隅っこや先端を目指す習性のあるツーリングライダー以外にはあまり魅力的な場所とは映らないようです。そんな陸の孤島みたいな場所に花の木農場は位置しています。

ただそんな立地条件だからこそ?花の木農場 の規模は結構広く、東京ドームがすっぽり5個ほ



花の木農場1

ど入ってしまいます。農業作目としては緑茶、野菜、養豚、花卉園芸などに取り組み、それらを原材料とした加工品製造 (オリジナル煎茶、手作りハム・ソーセージetc) も行っています。また複数の直営アンテナショップを鹿児島市内に展開し、形としては「生産→加工→販売」の流れが作られています。

さて先ほど「陸の孤島」という表現を使いましたが、それは地理的な条件だけでなく、最近 10年間の人口減少率が 10%以上、高齢化率に至っては 40%を大きく超えるという極度の過疎化現象にも表れています。ただ私は高校や大学への進学、そして社会人としてのスタートと共に生活の場所を大都市に移す経験もしましたが、都市と田舎の暮らしの幸福度が単純な比較で決まるものではありません。むしろ周囲の状況をどうにか活かしながら前に進んでいくべきなのは、今さら私が繰り返すまでもありません。そしてその前に進むスピードこそ、周囲の意見に流されず自分自身で決めていかなければなりません。

人事や組織管理の本を読むと「変化への対応し という言葉を時々目にします。社会の変化をいち 早く察知し、それに応じた組織へと変えていくべ しということですが、これもそう簡単なことでは ありません。組織に属する人々の心をまとめ、自 身の考えへの協力を取り付けなければ何も変わ らないからです。そして我が花の木農場におい ても、変化のスピードを上げていかなければなら ないと感じています。ただ私の考えを即組織のべ クトルにするのはやはり危険なので、その実験や 検証の場として [Hananoki FarmLab ~花の木 ファームラボーという極小のアンテナショップを、 最近リノベーションによって新たな価値の創造が 注目されている鹿児島市内の古ビルに開設しま した。店舗の形態を取っているので当然物販を 意識してはいるのですが、ビル内の他のテナント との共同イベント開催や、店舗内での商品開発 会議(お客様に入っていただくこともあります)な どを頻繁に行い、組織内では得にくい刺激を追求 しています。また私自身が店舗スタッフとしてほ ぼ毎週業務に入るように努め、お客様の声がダイ レクトに耳に入り易いようにもしています。自身 で経験してみて接客の難しさを改めて知ることに なり、営業スタッフへの思いやりが生まれた?の は思わぬ副産物でした(笑)。



花の木ファームラボ



花の木農場2

我々福祉サイドの人間は今まで、障害者の置 かれている状況を世の中の人々に知ってもらう ための啓発活動や協同作業の生産物を販売促進 することで社会との繋がりを深めてきたように思 います。しかし地球規模でのクライシスやテロ行 為、身近なところでは生まれ故郷の地盤沈下のご とき衰退など我々の生活を脅かす不安要素が広 がる中、業界の外から福祉的な活動へ手を差し 出してくれる人が増えてきているように感じます。 各種のメディアの発達によって、一人ひとりの小 さな善意を僅かなコストで大きな力に変える手法 も当たり前のようになってきました。つまり個人 が持っている個性や長所を、別な場所で困ってい る人へ役立てるような社会の仕組みが出来上が りつつあるということです。花の木農場において も、従来の社会福祉法人制度が時代と共にどう 変化していくのかを仮説→実験→検証していきた いと考えています。

花の木農場は社会福祉法人白鳩会が経営す る、おおすみの園(入所支援・生活介護)、セ ルプおおすみ (入所支援・就労系多機能型)、 セルプ花の木(就労系多機能型)、花の木大豆 工房(就労系多機能型)、花の木冷菓堂(就労 系多機能型)、花の木カノン(生活系多機能型・ 放課後サービス)と、農事組合法人根占生産 組合が共同運営する福祉農園です。

詳しくはホームページ (http://shirahatokai.jp) をご覧ください。

# 地域における包括的支援体制の構築をめざして





株式会社エンカレッジは、主に、大学・短大など の高等教育機関を卒業した発達障害のある方々が 〈イキイキと活躍できる社会を創りたい〉、そんな想 いで設立されました。

元々は、「ジョブジョイントおおさか」と「株式会社 インサイト | のコラボ事業 (発達障害学生のための インターンシップ) として2012年にスタートしたもの が、2013年から法人化し、2014年4月以降は、京 都を中心に活動を行っています。

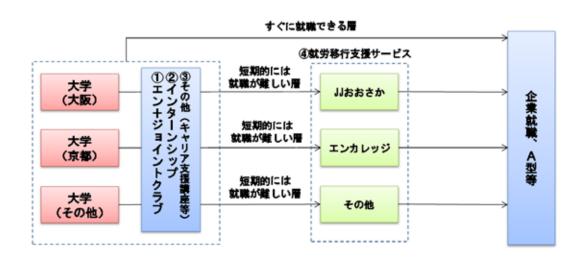
具体的な活動として、「発達障害学生のためのク ラブ活動であるエン+ジョイントクラブ |、「発達障害 学生に特化したインターンシップ」、「大学・短大を 卒業した発達障害の方々のための就労移行支援 事業所の運営」を、ジョブジョイントおおさか様と連 携して実施しています。

2012年度から開始したインターンシップには、通 算で100名以上の発達障害学生の参加、80社以 株式会社エンカレッジ 代表取締役 **窪** き 志 さんより

上の企業様にご協力を頂き実施してきましたが、もっ と手軽に参加できるプログラムが必要ではないか、 とのことで、2014年5月から、エン+ジョイントクラブ を開始しました。こちらも、既に2014年11月現在、 43名の学生に参加を頂き、ニーズの大きさを実感し ています。

また、最近は大学から、発達障害についての理 解を深めるための研修講師依頼や、大学内で発 達障害学生のための講座実施依頼も増えてきてお り、大学と連携した取組も強化していく予定にして います。

最終的には、下図が示すように、近畿地区でジョ ブジョイントおおさか様とエンカレッジとがチームと なって、発達障害学生及び既卒生のキャリア支援 を実施し、すぐに就職できる学生も、短期的には就 職が難しい学生も、我々の組織的な支援の下、社 会に送り出していきたいと考えています。



最後になりますが、高等教育機関を卒業された 発達障害のある方々のキャリア支援はまだまだ始 まったばかりであり、彼らの適した仕事が社会の中 にまだまだ存在しないのが現状です。したがって、 従来から存在する求人に発達障害のある方々を マッチングするだけではなく、発達障害のある方々 に適した仕事を新たに創り出す活動をしながら、社 会に発達障害のある方々が活躍できる土壌づくり を、ジョブジョイントおおさか様と一緒になって実現し ていきたいと考えています。

# 保護者と一緒にこどもの成長を見守り喜びたい



門真市立こども発達支援センター 
 みや
 した
 かつ

 センター長
 宮
 下
 勝

北摂杉の子会さんとは、これまで自閉症療育セン ター Link で門真市在住の3歳~10歳の発達障 がいのある子どもたちの個別療育支援でお世話に なり、保護者の方から「行かせてよかった」と面談 等で話しを伺っていました。また、2年前から本施 設の通園児にも機関支援としてお世話になり、園児 の特性や課題等を観察され適切な助言をいただい ており、園児も保護者も、本センター職員にも勉強を させていただいて大変感謝しています。また、本セ ンターで本年度から実施しています発達障がい児 個別療育事業では、実施以前から担当職員が実 習や研修にお邪魔してアドバイスをいただいたこと が、事業実施に大きくご貢献いただいていると喜ん でいるところです。

さて、門真市の障がい児施策は、児童福祉法の 一部改正に基づいて平成26年度以下のように変 化をしました。

○こども発達支援センター(福祉型児童発達 支援センター) がオープンし、健康福祉部から こども未来部に

これまでは知的・発達障がい児の通所施設「さ つき園」、肢体不自由児の通所施設「くすのき園」 の2園を就学前児童の通園施設として運営してい ました。平成26年4月に開設しました門真市立こ ども発達支援センターは、以前の就学前児童の療 育・機能訓練を実施する通園施設として、また3 歳~10歳の発達障がい児を対象とした個別療育 事業、0歳~18歳で課題やつまずきがある児童を 対象にした保育所等訪問支援事業、障がいの有 無に関わらず子どもの成長に関する悩みや不安を 持つ保護者を対象としたよろず相談をお受けする 相談支援事業の3事業を実施する地域支援の施 設として運営することにより、門真市在住の障がい 児に対して広く関わりを持たせてもらっています。

また、平成26年4月の機構改革により福祉部局 から教育委員会に新設された「こども未来部」に 属することになりました。福祉部の健康増進課や障 がい福祉課等との連携によりこれまで就学前児童 の支援を実施してきましたが、教育委員会に属す ることにより、学齢期になった児童も地域支援として 教育委員会各課と連携を図ることで一人ひとりの成 長を見守らせてもらえることは非常に大切であり重 責と考えています。

児童は保護者にとって宝物であり、その宝物の 成長を保護者とともに見守りお手伝いできることを喜 びにできるよう、まず児童・保護者とよい信頼関係 を築いていけるよう今後も奮闘したいと思います。



# リスクマネジメントシステム**の** 構築と成果

レジデンスなさはら 主任

精神保健福祉士·社会福祉士·介護福祉士 伊名岡

ひろし

# ■ リスクマネジメントに取り組むきっかけ

レジデンスなさはらは、平均支援区分が5.8と非常に高いグループホームです。また、\*\*1強度行動障害の方が20名中13名おられ、他のグループホームと比べ事故が起きやすい環境といえます。開設当初は目の前の支援に集中するあまり、リスクマネジメントの整備まで至らない状況でした。しかし「良い支援をするためには、リスクマネジメントをしっかりする必要がある」と考え、2年目(平成25年度)より、リスクマネジメントの取り組みを本格的に開始しました。

# ■ レジデンスなさはらのリスクマネジメントの 3つのポイント

上記にも記載した通り、以前のレジデンスなさは らは、リスクマネジメントが未整備でした。そのた め、以下の3点から、取り組みを開始しました。

- ひやりはつと報告、事故報告の適量な報告
- ひやりはっと報告、事故報告の評価
- リスク改善システムの整備

いずれも成果を得ているのですが、今回は、3 点の中で「ひやりはっと報告、事故報告の適量な報告」「ひやりはっと報告、事故報告の評価」の2 点を紹介したいと思います。

### ■ ひやりはっと報告、事故報告の適量な報告

• これまでのレジデンスなさはらの状況 平成24年度のレジデンスなさはらのひやりはっ と報告は36件、事故報告数は29件。この数字 を\*\*2ハインリッヒの法則と照らし合わせると、極端に ひやりはっと報告が少ない状況で、現場の実状と 報告数が合っていない可能性が非常に高いことが わかりました。

### • 取り組みと結果

まず、現場スタッフに、ひやりはっと報告と事故報告の内容を確認すると「事故報告書、ひやりはっと報告は始末書のように感じる」「現場に入っており、記入する時間がない」等の意見が出ました。

「なるほど」と思い以下の解決方法を試みました。

### (1) 「始末書 | というイメージを改善

ひやりはっと報告の「始末書」というイメージを改善するために、ひやりはっと報告のタイトルを 業務改善提案書としました。そうすることで、ひ やりはっと報告の目的を「業務改善のために報 告するもの」と明確にするようにしました。

#### (2) 現場に入りながら記入できる書式

現場の業務確認をすると、ケース記録がとても細目に記入されており、ひやりはっと報告の内容もケース記録に記入されているのが見てとれます。そこで「ケース記録をひやりはっと報告扱いにしてはどうか」と考え、備考欄に、ひやりはっと報告用の欄をつくり、ひやりはっとの事柄は、そこに○をすることで、ひやりはっと報告とするようにしました。(右上図参照)

また、記入者がひやりはっとしていなくても、他の職員がケース記録を読み「この事柄は、ひやりはっと」と判断すれば、「ひやりはっと」の欄のところに○をするようにしました。そうすることで、

漏れなく、また業務負担を増やすことなく、ひやり はっと報告をできるようになります。

結果、平成25年度にひやりはっと報告は556 件、事故報告数は84件と平成24年度を大きく上 回り、ハインリッヒの法則に近い報告件数になりま した。



# ■ ひやりはっと報告、事故報告の評価について

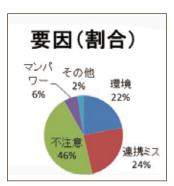
### • レジデンスなさはらの状況

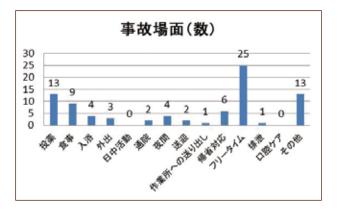
レジデンスなさはらでは、ひやりはっと報告、事故 報告が挙がると、1つひとつの報告書を職員に回覧 をしていました。しかし、報告書を回覧しても、「な かなか頭に残らないし「それらをまとめ、評価する までには至らないしという課題があり、ひやりはっと 報告、事故報告を活かしきれているとは言えません。

#### • 取り組みと結果

忙しくても頭に残る方法はないか?また、短時間 で評価できる方法はないか?と考えた結果、ひやり

はっと報告数、事故 報告数をグラフ化(右 記・下記グラフ参照) し、回覧することにし ました。





結果、短時間に必要な評価をすることができ、また 多く職員がひやりはっと報告、事故報告の把握でき るようになりました。

### ■その後

平成25年度から本格的に取り組みを始めリスク マネジメントは、平成26年度も継続し、「ひやりはっ とを報告する→改善する→ご利用者にとって安心 安全な住居になっていく」という、良いサイクルが 生まれています。

また、今回の取り組みが他の面にも良い影響を 与え、ひやりはっと以外のことへも支援員が前向き に取り組めるようになってきています。

「リスク」はなくならないかもしれませんが、その1 つひとつに丁寧に向き合い、改善することで、ご利 用者の生活の質は確実に向上します。一筋縄では いかないですが、今後もしっかりとリスクマネジメント に取り組んでいきたいと思います。

#### ※1 強度行動障害

直接的な他害(噛み付き、頭突き等)や、間接的な 他害(睡眠の乱れ、同一性の保持等)、自傷行為等 が「通常考えられない頻度と形式で出現している状 態|を指す。

#### \*2 ハインリッヒの法則

労働災害における経験則のひとつで、1件の重大事 故の背後には29の軽微な事故があり、その背景に は300の異常が存在するというもの。

# ジョブサイトひむろの 『新入職員向け研修パッケージ』の取り組み



ジョブジョイントおおさか - たかつきブランチ - 支援員 (前ジョブサイトひむろ 支援員)

### ■ はじめに

ジョブサイトひむろでは、正職員、非常勤職員と もに、新しく入職した職員に対しての教育は現場で の引き継ぎが中心となっていたので、障がい特性 や支援に関する基本的な知識量にも個人差があり ました。

事業所全体での勉強会は定期的に実施していま したが、テーマ設定が統一できず体系化されてい なかったため、その年々で研修委員が企画、運営 をしていました。

そこで、新入職員に対してより効果的に研修を 行えるよう、平成24年度の研修委員で新入職員向 けの研修内容をパッケージ化することを企画し、平 成25年度より運用を開始しました。その取り組みに ついてご紹介いたします。

# ■『新入職員向け研修パッケージ』の取り組み

- 目 的:①新入職員が基礎知識を獲得する機会を 設定する
  - ②全職員が共通の知識を持ち、支援力の 標準化を図る
  - ③研修をパッケージ化することで運営を効 率化・簡素化する
  - ④計画的に研修を実施し、効果を図る

テーマ: 『法人の理念・ジョブサイトひむろの概要』 『支援者の基本姿勢〈利用者対応(倫理)〉』 『自責と他責』

『知的障がいについて』 『発達障がいについて』 『ダウン症について』 『てんかんについて』

『問題行動の対応』

『個別支援計画と記録の書き方について』

テーマは前年度までに実施した内容から必要なも のをピックアップし、さらに、新入職員に知っておい てもらいたい基礎的な内容を加えて設定しています。 資料は、これまで職員が他の研修で使った資料や 書籍を参考に、研修委員が上長の確認を得て作 成しました。

### ■ 平成25年度の実施方法

- ①月1回勉強会として実施(講義、グループワーク)
- ②振り返りシートの記入
- ③資料と振り返り シートを各自で ファイリング



平成24年度に

研修パッケージ

振り返りシート

の企画、資料作成を行い、平成25年度は残りの 資料の作成を進めながら運用を開始しました。



資料

平成25年度 は、研修パッケー ジの運用の1年目 だったため、月1 回『勉強会』と して実施。研修 委員が講師となっ てパッケージの内容を講義形式で説明し、加えて 参加者でグループワークを行い、理解を深められる ようにしました。『勉強会』後には振り返りシートを 記入してもらい、日々の支援につなげられるようにし ました。

『勉強会』は対象を入職3年未満の職員(3年 以上の職員も希望者は参加可)とし、基本的に全 員参加です。しかし、開催時間はご利用者が帰ら れた後の設定となるため、非常勤職員の勤務外の 時間となって都合がつけにくい職員や、その時間 に他の業務にあたっていて参加できない職員もいま す。そのため、毎回予備日を設定したり、予備日に も参加できない職員に対しては資料を配布し、資 料を読んだ上で振り返りシートを提出してもらったりし ました。



勉強会

#### ■ 成果

新入職員に対して、事業所として統一した内容 の研修を実施することができました。

また、『勉強会』にグループワークを取り入れたこ とで、他の職員と支援に関する意見交換や情報交 換を行うことができ、現場の支援の質の向上につな がっています。

## [参加実績]

	テーマ	参加者数
第1回(6月実施)	『法人の理念・ジョブサイトひむろの概要』	18名
第2回(7月実施)	『支援者の基本姿勢(利用者対応(倫理))』	23名
第3回(8月実施)	『自責と他責』	22名
第4回(9月実施)	『てんかんについて』	19名
第5回(10月実施)	『知的障がいについて』『ダウン症について』	17名
第6回(11月実施)	『発達障がいについて』	13名
第7回(12月実施)	『問題行動の対応』	11名
第8回(3月実施)	『個別支援計画と記録の書き方について』	14名

### [参加者の意見・感想]

- 支援者一人ひとりの知識・意識によって、ご利 用者の活動に大きな違いが出ることがわかった。
- •ご利用者が"地域で生きる"ために個別支援計 画があり、日々の私たちの支援があるのだと再認 識した。
- 同じ仕事をされているご利用者も、一人ひとり目 的の持ち方が違うことを頭に入れて、支援のやり 方を考えたいと思う。
- 私たちにとって当たり前のことがそうではなく、常 に生きづらさや不安を持っておられるのだと改め て思った。支援方法を工夫することでそれを軽 減できるので、常に考え、一つの方法にこだわ らず改善していくことが必要だと感じた。

### ■ 今後の課題・展望

## ①実施方法

平成25年度は勉強会として実施しましたが、入 職の時期が違う職員に対して、漏れなく、より効 果的に研修が行えるよう仕組みを整える必要があり ます。研修を実施するタイミングや担当者を明確に し、必要な情報を確実に提供できるようにしていき ます。

#### ②研修内容

今回の取り組みで『研修パッケージ』は完成し ましたが、福祉を取り巻く情勢やご利用者の状態 像は日々変化していくため、必要に応じて資料を更 新していかなければなりません。また、外部研修等 で得られた支援に必要な新たな情報や現場が感じ る新たなニーズなどがあれば積極的に反映させ、 テーマとして追加していくなどして、より良いパッケー

> ジとなるよう今後も検証を続けていく必 要があります。

> ご利用者のニーズや想いを第一に、 職員や事業所が一体となってより良い 支援を行えるよう、今後も職員一人ひと りの支援力を高めていきたいと思います。

# 北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成26年9月~平成26年11月)

北摂杉の子会のホームページ (http://www.suginokokai.com) では、 様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。 過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。 ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。 ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスして ご覧ください!

掲載ページ	内容
各施設のご案内	an 新聞·will 新聞·Link 新聞掲載
	発達障害のある大学生向けサービス『en+jointクラブ』2期生募集のご案内
	児童発達支援部 平成26年公開講座のご案内
お知らせ	食の文化祭実行委員会主催イベント「食の文化祭 高槻ジャズとグルメフェア」で「よどのコロッケ」と「ぷれいすBeのガレット」販売
	日本知的障害者福祉協会機関誌「さぽーと」に当法人常務理事・松上利男とぷれいすBe内のCafé Beを運営会社 島珈琲の島規之さんが寄稿
イベント・講座案内	研修相談支援室 公開講座「自閉症スペクトラムの理解と支援 思春期の課題と自己理解への支援」ご案内
イベンド・神座条内	保護者の方対象 発達障がいのお子さんのための平成26年度(後期)「自己理解支援講座」
虐待防止委員会 広報誌	広報紙「はなみずき」掲載
よどのコロッケ	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
Cale be	Café Be ミュージック・ディ情報更新



# 掲示板コーナ

# (平成26年9月から平成26年11月まで)

# 法人本部総務部掲示板

9月	行事
8日	経営会議
12日	運営会議
9~ 12日	発達障害支援SV実務研修受入
11~ 16⊟	発達障害のある大学生 インターン受入
20日	平成27年度採用説明会 (高槻商工会議所 会議室)
29日	自閉症啓発デー会議(法人本部会議室)

10月	行事
3日	平成27年度採用 二次面接(法人本部会議室)
7日	経営会議
10日 24日	運営会議
21日	新入職者研修(法人本部会議室) 障害理解 アクトおおさか 堀内桂センター長
24日	虐待防止委員会
25日	平成26年度 第3回法人研修 (高槻現代劇場402号室) ・厚木精華園見学報告 ・医療職会議報告 ・虐待事案の概要報告 ・グループワーク~虐待防止に向けて
27日	自閉症啓発デー会議(法人本部会議室)

11月	行事
6日	経営会議
9日	第93回理事会・第54回評議員会 (高槻市立生涯学習センター 研修室) 第1号議案 規則類の一部改正の件 第2号議案 平成26年度 社会福祉法人北摂杉の 子会 補正予算(案)の件
4~ 7日	発達障害支援SV実務研修受入
17日	自閉症啓発デー会議(法人本部会議室)
29日	運営会議

(河辺 記)

# 発達障害支援SV実務研修受入





# 萩の杜掲示板

この期間は福祉施設職員の実習や関係機関からの見学、支援者養成のための研修などがありました。今回はそうした様子をご紹介したいと思います。

外部の視点を受け入れることで、自分たちの支援内容を振り返り、ご利用者のより良い生活を支援できるように努めていきます。

#### 〔福祉施設実習受入〕

11月10日~12日 真柄福祉財団 2名 11月17日~21日 愛 心 園 2名 \*期間中、ジョブサイトひむろやレジデンスなさはらでも 実習されています



#### 実習の感想

個々のご利用者を大切にした先進的な取り組みを直で感じることができ、また、知識や経験が豊富な職員の方々とも接することで、とても刺激的で充実した実習となりました。 有難うございました。

障害者支援施設愛心園 施設支援課主任 原田 幸浩 (写真左)

「日頃からご利用者の様子を観察し、個々の特性を把握してそれに応じた支援を考える」 徹底した姿勢 には感銘を受けました。 私も日頃の支援を行う上で、 是非とも心掛けたいものと考えています。

障害者支援施設愛心園 生活支援員 曽谷 良輝 (写真右)

#### (三島圏域ソーシャルワーク連絡会の見学)

11月20日、11月27日で3回にわけて30名が見学

三島圏域の各病院に勤務されている医療ソーシャルワーカーのみなさまの見学がありました。

参加された方からは知的障がいのある人の支援について理解が深まったと話されていました。



### (発達障害支援SV養成研修)

9月10日 6名 11月5日 5名

全国自閉症者施設協議会が主催する発達障害支援SV養成研修を当法人で開催し、萩の杜でも施設見学やケース検討会を行いました。

全国各地からの参加者に萩の杜の職員もいろいろ刺激を受けました。





(山根 記)

# ジョブサイトひむろ掲示板

# (9~11月のレクリエーション・行事)

ジョブサイトひむろ旅行の写真を掲載しています。 今年度は、3日間に分かれて計5コースの日帰り旅行を実施しました。

# ● 姫路セントラルパーク● 9月26日





● 舞子ビラバイキング、須磨水族園● 9月26日





○ ハーベストの丘 ○10月3日





● 信楽、モクモクファーム● 10月17日



\*\* 東映太秦映画村 \*\* 10月17日



(中原 記)

# 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

9月	行事
1日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 泉大津市 訪問
2日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 寝屋川市 訪問
4日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 枚方市 枚方市障害者事業協会 訪問
5日	大阪府3センター情報交換会
9日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 河内長野市/門真市 訪問
10日	大阪府発達障がい者支援体制整備検討部会
12日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 枚方市 障害者地域活動スペースSORA 東大阪市 就労継続支援B型はっぴいプラザ 訪問
17日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 茨木市 訪問
18日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 八尾市 相談支援事業所のびやか 訪問
19日	応用講座 1回目(講義·事例検討)
22日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 茨木市 相談支援センターあいあい 訪問
24日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 茨木市 いばらき自立支援センターぽぽんがぽん (相談支援事業) 和泉市障がい者基幹相談支援センター 訪問
25日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 茨木市ケアマネ部会
26日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 交野市 訪問
28日	JDDネット情報交換会 ペアレント・メンター活動に関する情報交換会
30日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 豊中市 サポートセンターる~ぶ(相談支援型)訪問

10月	行事
2日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設)
	茨木:地域活動支援センター菜の花 四条畷:相談支援事業所さつき
3日	法人内相談支援従事者「ソーシャルワーク研修」 2回目
	講師派遣:大阪府母子自立支援員等研修会
6日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 東大阪市 訪問
7日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 寝屋川市障害者地域生活支援センターあおぞら 訪問 講師派遣:市町村民生委員児童委員協議会 (連合会)会長研修会
8日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 柏原市 訪問
9日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 阪南市 相談支援事業所りあん 訪問 講師派遣:茨木市福祉政策課内研修
10日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 和泉市 フレンドリーハウス(就労継続B型·就労移 行支援)訪問 相談支援従事者現場会議
16日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修 2クール目(1日目)
17日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修 2クール目(2日目) ペアレント・トレーニングインストラクター養研修成 1クール目(まとめ)
20日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 枚方市 枚方市障害者事業協会わお 訪問 講師派遣:大阪府障害者福祉事業団相談支援委員 会研修 家族グループ(3回目)
23日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 四条畷市 相談支援事業所さつき 訪問
24日	オアシス・JSよど・JJおおさか家族会勉強会 発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 東大阪市 オラシオン相談支援センター 訪問
27日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 和泉市基幹相談支援センター 訪問
30⊟	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 河内長野市 訪問
31日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 枚方市 障害者地域活動スペースSORA 訪問 大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会 講師派遣:高槻人権連続講座

11月	行事
4日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 寝屋川市障害者地域生活支援センター あおぞら 訪問
5日	講師派遣:大阪府人権総合講座
7日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 東大阪市 はっぴぃプラザ(就労継続支援B型) 訪問
11日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 門真市 訪問
12日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 八尾市 相談支援事業所のびやか 訪問
14日	第2回 成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会
17日	家族学習会
20日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 四条畷市 相談支援事業所さつき 訪問
	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 和泉市 フレンドリーハウス(就労継続B型·就労移 行支援)訪問
21日	大阪府発達障害団体ネットワーク定例会
25日	応用講座(2回目)西川瑞穂氏 講義「発達障害と 医療」
28日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 東大阪市 オラシオン相談支援センター 訪問

応用講座(第2回) 西川先生 講義





(内田 記)

# 児童発達支援部掲示板

# ○研修相談支援室·PASSO

11日生き物くらぶ2名参加15日料理くらぶ3名参加16日摂津市学校巡回指導

O 14112 11	-HXXXXXX - 7.000
9月	行事
5日	淀川区自立支援協議会相談支援部会
8日	自己理解支援講座(前期)第3回目 家族グループ
	合同開催 12名参加
12日	和泉市中学校巡回指導
13日	科学·発見くらぶ 3名参加
17日	料理くらぶ 3名参加
19日	家族グループフォローアップグループ① 4名参加
	高槻市ペアサポート巡回指導④
24日	生き物くらぶ 2名参加
26日	和泉市幼稚園巡回指導
10月	行事
1⊟	高槻市立芝谷中学校校内研修
3日	淀川区自立支援協議会相談支援部会
	家族グループ② 3名参加
8日	科学発見くらぶ 3名参加
10日	高槻市ペアサポート巡回指導⑤
	和泉市小学校巡回指導
	泉大津市小学校巡回指導

17日	茨木市すくすく教室講師派遣
20日	思春期講座第3回目 10名参加
	豊能町学校巡回指導
24日	和泉市小学校巡回指導
27日	四条畷市民センター講師派遣
31日	大阪府発達障害者支援団体整備検討委員会

11月	行事		
7日	公開講座 高槻市現代劇場 43名+SV研修生参加		
	淀川区自立支援協議会相談支援部会		
	泉大津市小学校巡回指導		
10日	Link実践交流会		
12日	生き物くらぶ		
14日	高槻市小学校ペアサポート巡回指導⑥		
	豊能町中学校巡回指導		
	大阪府委託気づき支援事業幼稚園教諭演習		
17日	後期自己理解支援講座①高槻開催 10名参加		
21日	高槻市小学校ペアサポート巡回指導で		
22日	科学発見くらぶ 3名参加		
28日	家族グループフォローアップグループ② 4名参加		
	和泉市中学校巡回指導		

(大澤 記)

# <PASSO<らぶ>

本人支援コース終了されたご利用者で集まり、 余暇・社会性の開拓を目的に今年度からスタートしました!



<科学発見くらぶ> ペットボトルロケット



<生き物くらぶ> 淀川河川敷で釣り



<料理<らぶ> オムライス作り

# ○児童デイサービスセンターan

9月	行事
2日	保護者研修実践(第4回)
12日	保護者研修入門Bグループ(第4回)
16日	保護者研修入門Aグループ(第4回)
26日	保護者研修実践交流会(第3回)
27日	平成27年度新規療育児募集説明会

10月	行事
7日	保護者研修実践(第5回)
10日	保護者研修入門Bグループ(第5回)
21日	保護者研修入門Aグループ(第5回)
23日~	後期個別の指導計画作成面談
11月7日	

1	1月	行事	
1	1日	平成27年度新規療育児募集説明会	
1	4日	保護者研修実践交流会(第3回)	
22	2日~	新規療育児発達検査開始	
2	25日	平成26年度公開講座	
2	18日	保護者研修入門(公開講座のビデオ上映の回)	

# ○自閉症療育センターwill

9月	行事
12日	保護者研修Aグループ(第4回)
19日	保護者研修Bグループ(第4回)
26日	保護者研修実践グループ(第2回)

10月	行	事
10日	保護者研修Aグループ(第5回)	
17日	保護者研修Bグループ(第5回)	
25日	法人研修	
30日~ 11月7日	後期個別の指導計画作成面談	

11月	行事
14日	保護者研修Bグループ(第6回)
21日	保護者研修Aグループ(第6回)
28日	保護者研修実践グループ(第4回)
29日	施設見学会

### ○自閉症療育センターLink

9月	行	事
1日	実践交流会(第3回)	
12日	保護者研修Aグループ(第4回)	
19日	保護者研修Bグループ(第4回)	
27日	施設見学会	

10月	行	事
6日	実践交流会(第4回)	
17日	保護者研修Bグループ(第5回)	
24日	保護者研修Aグループ(第5回)	
25日	法人研修	
30日~ 11月7日	後期個別の指導計画作成面談	

11月	行	事
10日	実践交流会(第5回)	
14日	保護者研修Bグループ(第6回)	
21日	保護者研修Aグループ(第6回)	
29日	施設見学会	

(谷岡 記)

# ジョブサイトよど掲示板

9月	行 事
1·8· 22· 29日	選択プログラム ドライブ
2· 16日	選択プログラム エアロビ
3· 17日	選択プログラム プール
4·11· 18⊟	選択プログラム ウォーキング
5日	選択プログラム カラオケ
9日	選択プログラム 陶芸
	お月見マルシェーコロッケ外販
10· 24日	選択プログラム 絵画
12日	指導センター前 コロッケ外販
19日	選択プログラム 乗り物
	十三中学校 コロッケ外販
20日	ぷれいすBeCafeコンサート コロッケ外販
21日	サイクルピクニック コロッケ外販
25日	大阪市役所ロビー コロッケ外販
26日	選択プログラム 料理
	指導センター前 コロッケ外販
29日	淀川コロッケ予約販売
30日	選択プログラム サッカー
	豊中コロッケ予約販売

10月	行事
1· 15日	選択プログラム プール
2·9· 16· 23日	選択プログラム ウォーキング
3日	選択プログラム カラオケ
6·20· 27日	選択プログラム ドライブ
7· 21日	選択プログラム エアロビ
8· 22日	選択プログラム 絵画
9日	B.B.マルシェ コロッケ外販
10日	十三中学校 コロッケ外販
11· 12日	食の文化祭 コロッケ外販
12日	エンジョイ長居 コロッケ外販
14· 28日	選択プログラム 陶芸
17日	選択プログラム 乗り物
18⊟	高槻ふれあい祭 コロッケ外販
	長居スポーツフェスタ コロッケ外販
	大阪医療福祉大学 コロッケ外販
19⊟	淀川河川敷フェスタ コロッケ外販
21日	平野コロッケ予約販売
23日	トレードピアミディーマルシェ コロッケ外販

24日	十三中学校 コロッケ外販
	半日利用日
27日	第二杉の子ビル利用開始(Jブランチ)
28日	選択プログラム サッカー
	淀川コロッケ予約販売
30日	豊中コロッケ予約販売
31日	選択プログラム 料理

11月	行事
4日	選択プログラム エアロビ
5· 19日	選択プログラム プール
6·13· 20· 27日	選択プログラム ウォーキング
7日	選択プログラム カラオケ 十三中学校 コロッケ外販
8日	北区ふれあいふぇすた コロッケ外販
8.9日	西淀川みてアートコロッケ外販
10· 17日	選択プログラム ドライブ
11日	選択プログラム サッカー
11· 25日	選択プログラム 陶芸
12· 26日	選択プログラム 絵画
12日	三菱東京UFJコールセンター コロッケ外販
13日	十三市 コロッケ外販
14日	指導センター前 コロッケ外販
19日	平野コロッケ予約販売
20日	豊中コロッケ予約販売
21日	選択プログラム 乗り物
22日	選択プログラム サッカー(フレンドリーアクション 試合)
23日	西区そよかぜ祭り コロッケ外販
24日	杉の子秋まつり
26日	淀川コロッケ予約販売
27日	トレードピアマルシェ コロッケ外販
28日	選択プログラム 料理 (四世・三)

(田端 記)

## SKIP楽団ゆかいな音楽会様と 夢ちゃん

# ◆ 杉の子秋まつりの様子 ◆













# ぷれいすBe掲示板

9月	行事			
1日	大阪医療福祉専門学校より実習生2名受け入れ (9/5まで)			
5日	大阪総合福祉専門学校より実習生1名受け入れ (10/3まで)			
6日	土曜開所日			
14日	カトリック高槻教会にてガレットの販売			
18⊟	内部研修実施(てんかんについて)			
20日	土曜開所日(カフェコンサート)			
22日	大阪府立大学より実習生2名受け入れ			

見学:0件

10月	行事				
6日	台風のため臨時休所				
8日	避難訓練				
	藍野大学より実習生1名受け入れ				
9日	茨木支援学校より体験実習として生徒1名受け入れ (10/10まで)				
11日	土曜開所日				
11.	高槻食の文化祭にてガレットの販売				
12日	同燃及の人に示にてカビアの舰元				
15日	藍野大学より実習生1名受け入れ				
16日	高槻市実地指導				
18日	大阪保健医療大学にてガレットの販売				
20日	日本知的障害者福祉協会より実習生1名受け入れ				
	(11/1まで)				
26日	カトリック高槻教会にてガレットの販売				
29日	藍野大学より実習生2名受け入れ				

見学: 3件15名

11月	行事				
1.2日	ロハスフェスタ(北摂地ヂカラフェスタ)にてガレット				
	の販売				
5日	藍野大学より実習生2名受け入れ				
	高槻第二中学校より職業体験実習として生徒3名を				
	受け入れ(11/6まで)				
9日	カトリック高槻教会にてガレットの販売				
11日	新潟県真柄福祉財団より研修生2名受け入れ				
	(11/12まで)				
15日	土曜開所日				
17日	内部研修実施(救急救命講習)				
22日	フレンドリーアクションフェスティバル (サッカー大				
	会)に参加				
25日	日本知的障害者福祉協会より実習生1名受け入れ				
	(~12/6)				

見学:5件42名 (下 記)



カフェコンサート (NIWATORI様)



カフェコンサート風景



サッカー大会



サッカー大会PK



ハロウィン



ハロウィン



土曜開所 (ボーリング)



土曜開所 (万博公園)



地ヂカラフェスタ

# ジョブジョイントおおさか-たかつきブランチ-掲示板

9月	行事				
3日	健康診断(十三)				
8日	事業所見学会(十三)				
13日	3 家族ミーティング				
18日	18日 特別講座「合同面接会直前対策セミナー」				
22日	22日 事業所見学会(高槻)				

10月	行事			
6~17日	個別懇談期間			
6日	事業所見学会(十三)			
11日	en+jointクラブ(大学生向けプログラム)			
27日 会社見学会(東京海上ビジネスサポート株式会社)				
	事業所見学会(高槻)			
31日	レイアウト変更(十三)			

11月	行事	
1⊟	家族ミーティング	
10日	事業所見学会(十三)	
17日	事業所見学会(高槻)	
29日	JJ(ジョブジョイントおおさか)OBの会	

(山田 記)



jobjointクラブ(ビール工場見学)



jobjointクラブ (紅葉狩り)



職員研修「虐待防止について」



特別プログラム「先輩からの報告」

# 萩の杜家族会掲示板

9月	行事
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加
19日	ふれっと懇親会
24日	家族会会長懇談会
25日	サークル萩(手作り品の作成と情報交換)
26日	ホットトーク ・実践報告(山根副施設長) 定例会 ・高齢化重度化対策寄付金について(中村理事長) ・安全対策委員会報告(勝部施設長) ・入院対応勉強会について ・各グループ(資金、広報、会計、事務局)からの報告
28日	カトリック高槻教会にて花販売

10月	行事			
5日	ハンドメイド1dayショップバザー参加			
10日	入院対応説明会			
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加			

12日	奥坂コミセンバザー
15日	杉の子農園収穫祭
23日	サークル萩(手作り品の作成と情報交換)
26日	カトリック高槻教会にて花販売
27日	安全対策委員会

11月	行事
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加
20日	母親親睦会
23日	カトリック高槻教会にて花販売
	定例会     ・施設からの報告(勝部施設長)     ・安全対策委員会報告(山根副施設長)     ・各グループ(資金、広報、会計、事務局)からの報告     ・定例会の在り方について     ・互助会の進捗状況について

(飯塚 記)

# ジョブサイトひむろ家族会掲示板

9月	行事					
24日	第2回定例会(現代劇場207号 会員34名出席)					
	議題1	家族会報告 会長より				
	議題2 法人現状報告 中村理事長より					
	議題3 ジョブサイトひむろ報告 森田施設長より					
	事前に会員各位からいただいた質問に回答をいただきました					
	議題4 平野地域生活支援部長報告 その他 中村理事長より居宅介護事業の必要性について 平野地域生活支援部長より区分認定勉強会の開催予定について					
	会長より後援会への協力要請					
	高槻ふれ	いあいバザーについて				
	第3回家族	会会長懇談会(法人本部	会長欠席)			

10月	行事
15日	杉の子農園収穫祭
17日	高槻ふれあいバザー前日準備(役員、会員、森田施設長)
18日	高槻ふれあいバザー 売上金額 241,280円
	(市役所前 役員、会員、平野地域生活支援部長、森田施設長)
22日	広報委員会 機関誌59号発送(事務局役員)

11月	行事
5日	第3回役員会(カフェBe)
	• 高槻ふれあいバザーについて
	• 森田施設長より
	<ul><li>ジョブサイトひむろ移設について</li></ul>
	• グループホーム建設について
	・次回定例会について
	<ul><li>次期役員について</li></ul>
	<ul><li>家族会費について</li></ul>
6日	クリスマスプレゼント手配(会計役員)
26日	第4回家族会会長懇談会(法人本部 会長出席)

(宮階 記)

# ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

9月	行事
1⊟	役員会開催 100円喫茶実施
8日	オアシス役員会にて100円喫茶実施
13日	十三市で、オアシスの子どもさんたちがおせんべいの売り子を体験
	大阪発達障害支援センターエルムおおさか所長井上芳子氏をお迎えして 「就労について」講義していただいた(12名参)
24日	四家族会会長懇親会(会長参加)
26日	オアシスサロンにて100円喫茶実施

10月	行事
6日	役員会開催 100円喫茶実施
9日	オアシス役員会にて100円喫茶実施
11日	NPO法人自閉症eサービスより「自閉症スペクトラム者の高齢化について」講義をうけた(会長、役員)
13日	十三市に参加
15日	コロッケ店にて十三市せんべいを販売
20日	10月定例会 医療連携推進室の小林哲理氏をお迎えして「入院の時の対応について」お話して頂いた。田端施設長からお知らせ・報告(22名参加)
24日	大阪府発達障害支援支援センターアクトおおさか所長堀内桂氏をお迎えして大阪 府の状況など講義して頂いた
27日	オアシスサロンにて100円喫茶実施

11月	行	事
10日	オアシスの役員会にて100円喫茶実施 午後から役員会開催。100円喫茶実施	
13日	十三市に参加	
13~14日	全国自閉症者施設協議会全国大会熊本大会	に参加(会長)
18日	後援会の定例会に参加(会長)	
24日	杉の子秋まつり(よどまつり)に支援	
26日	法人家族会会長会懇親会に参加(会長)	

(福田 記)

# 杉の子秋まつり





全国自閉症者施設協議会熊本大会 スティーブ・クルーパ博士と松上常務と会長

### 十三市





エルムおおさかの勉強会 井上芳子先生

# ぷれいすBe家族会掲示板

9月	行事
4日	役員会(ぶれいすBe会議室)出席者:9名(施設長を含む)  • 父親の会(8月30日開催)の報告  • 定例会の準備(「定例会開催のお知らせ」他書類・資料の確定・役割分担など)  • 機関誌「掲示板」原稿
8·19· 22日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会(今城塚公民館)
19日	参観&ランチ(第三回)担当役員(北川、西郷)参加者8名
24日	四家族会会長懇談会(出席:厚東)

10月	行事		
2日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会(今城塚公民館)		
8日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会(富田公民館)		
9日	役員会(ぷれいすBe会議室)出席者:10名(施設長を含む)		
	• 参観&ランチ(第三回)の報告		
	• 定例会の準備(資料の決定・印刷・配布・役割分担等)		
11日	定例会(カフェBe)10時より12時まで		
	参加者:31家族(32名)		
	審議報告事項		
	• 司会進行(大門)		
	• 上半期の活動報告(厚東)収支報告(北川)		
	• 下半期の活動計画(厚東)		
	• 中村節史理事長「社会福祉法人北摂杉の子会より」		
	• 松上利男常務理事「福祉行政の現状とこれから」		
	・下施設長「ぷれいすBe下半期に向かって」		
	・木戸副施設長「ひやりはっと 年度報告」		
	• 質疑応答		
	<ul><li>コーラスグループ「コールつばさ」の活動報告と演奏</li></ul>		
	• 会終了後「定例会のお礼」を全会員に配布		
15日	「第三回杉の子農園収穫祭」への参加。 ぷれいす Be 保護者 10 名(そのうち		
	役員6名)。10時から14時過ぎまで		
21日	参観&ランチ(第四回)、担当役員(鶴野、川上)、参加者3名		

11月	行	事	
9日	北摂杉の子会評議会(出席者:厚東)		
10日	ショートステイ事業との懇談会(ぷれい	すBeシートステイの部	『屋)
	13:00~15:00、担当役員(鶴野、	大門)参加者:14名、	施設側職員:5名
13日	役員会(ぷれいすBe会議室)出席者:	: 10名(施設長を含む	(j)
	<ul><li>行事報告(参観&amp;ランチ(第四回)、</li></ul>	第三回杉の子農園収	穫祭)
	• 「Beどうし」の原稿		
	• 「第7回父親の会」案内文書		
	• 「入院対策について」報告書の勉強	会	
	• 家族会案内文の印刷		
18日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会		
26日	四家族会会長懇談会(出席者:厚東)		
27日	参観&ランチ(第五回)、担当役員(田	中)、参加者:8名	

(厚東 記)

# 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

9月	行事
8日	オアシス役員会
13日	十三市 会員児売り子体験
16日	エルムおおさか井上先生の勉強会
	ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会と共催
26日	オアシスサロン開催

10月	行	事
9日	オアシス役員会	
	アクトおおさか堀内先生の勉強会 ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族	会と共催
27日	オアシスサロン開催	

11月	行	事
10日	オアシス役員会	
21日	大阪府障害団体ネットワーク会会合	副会長出席
26日	オアシスサロン開催	

(村井 記)

# 北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対して萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぷれいす Be の家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

#### <会員数の推移>

9月 個人会員:512名、団体会員:22団体 合計:534名/団体 寄付:2件 10月 個人会員:517名、団体会員:22団体 合計:539名/団体 寄付:2件 11月 個人会員:524名、団体会員:23団体 合計:547名/団体 寄付:5件

(11月末までの新規会員)

個人会員:49名、団体会員:2団体 合計:51名/団体

#### <報告事項>

- 1) 今年度の11月末までに20件、377,000円の寄付、1,312,200円の会費、合わせて1,689,200円の資金を頂きました。 ご協力ありがとうございます
- 2) 11月18日 (火) に臨時役員会を開催
  - 2014年8月~2014年10月までの経過報告
- ① 個人会員:517名、団体会員:22団体、②寄付:15件、③資金:約132万円(会費納入率は個人:58%、団体:59%)
  - 後援会への入会及び会費未納会員への納入依頼について協議
  - ・法人HP中の後援会の部分の改訂の経過
  - ・後援会顧問の留任、新規就任依頼について協議

(棚山 記)

# 寄付と後援会入会のお願い

記

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。 お振込みは右記口座まで。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

- 1. 寄付金(注)
- 2. 個人会員 年間-口 2,000円
- 3. 団体会員 年間-口 10,000円
- 郵便振込口座北摂杉の子会 00920-8-90859



(注)任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、 寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名:三菱東京 UFJ 銀行 支店名 高槻支店 口座名:社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史口座番号:5085555

- □法人法人へのご寄附に感謝いたします。(平成26年9月1日~平成26年11月30日) 河端良一 大岡史明 三宅達也 棚山薫晴 小川敏夫 中村節史 福田啓子 真野利之 村井尚子 植松芳哲
- □後援会入会と会費納入(平成26年8月22日~平成26年11月30日) 朝倉千涼 池田美保子 池田洋子 稲井由沙子 井上輔希子 岩井光男 上前彰子 榎本貴夫 大来恵子 大橋武司 小野明子 笠原隆之助 亀田三恵子 川田紀久夫 木下豊仁 木下光代 酒井喜代美 坂口 誠 佐々木久美子 佐々木サツキ 篠原琴美 菅沼朋子 鈴木都美 関山由規美 関 良子 高橋八重子 高宮郁子 田子森幸子 谷口智恵子 玉木一彦 篤田晴子 永井昌明 長尾あかり 長尾あゆみ 長尾智久 長尾京子 長尾保志 長尾幸英 中島江美子 中西邦夫 中村 潤 中村四葉 長良恭行 並河 博 西井多美 西井弘美 西井正美 西井真弓 西坂徹雄 野口健司 橋本恵美子 八里さだ 八田 隆 平原征男 広井 泉 広井良平 福田啓子 福田浩三 福田浩隆 藤井弘子 藤田晴美 本田 聡 本田成美 本田利秋 本田俊之 本田英世 本田宏美 本田賀子 前田直俊 増渕紘子 真鍋宣子 宮城良博 三輪明美 村山宣明 矢橋 文 矢橋雍文 矢橋美智子 山口秀子 山口 博 山里将夫 山田健一 山元峰子 結城越代 米田たか 匿名様 株式会社いずみ商事 代表取締役 久保常和 伊丹産業株式会社 トヨタカローラ新大阪株式会社 名神茨木店 有限会社北摂初田 高槻市教職員組合 社会福祉法人 高槻ライフケア協会 理事 川浪スヱ子 ひばりクリニック 高橋昭彦
- □ 後援会への寄付(平成26年8月28日~平成26年11月30日) 朝倉千涼 笠原隆之助 新川 淳 成田憲彦 真鍋宣子 宮本東雨 矢橋 雍文 エムズエンジニアリング株式会社 社会福祉法人ふらっと ピーター・パン
- □家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成26年9月1日~平成26年11月30日) 植松芳哲 本田英世 田口恵美子 田口容子 嶋田輝美 ほかほか弁当園田店
- □ 物品のご提供に感謝いたします。(平成26年9月1日~平成26年11月30日) 竹中陽子 篤田晴子 長井美代子 藤岡紀子 岡田公子 伊藤 功 不二園芸
- □ボランティアに感謝いたします。(平成26年9月1日~平成26年11月30日) 佐々木映世 坂井恵美子

(敬称略 順不同)



# 施設住所一覧

□ 社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155 [E-mail] info@suginokokai.com [URL] http://www.suginokokai.com	□ 研修相談支援室·PASSO (法人独自の公益事業〈検査·相談·研修·本人支援·講師派遣〉) 〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号 TEL&FAX (06) 4862-5454 [E-mail] o-center@suginokokai.com
<ul> <li>□ 知的障害者生活施設 萩の杜 (施設入所支援・生活介護) 〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1         TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130         [E-mail] haginomori@suginokokai.com</li> <li>□ 萩の杜ショートステイセンター ぶれす (短期入所・日中一時支援) 〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1         TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130         [E-mail] breath@suginokokai.com</li> </ul>	[URL] http://oasc.jp  □ 児童デイサービスセンター an (児童発達支援・放課後等デイサービス事業) 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号 TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015 [E-mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp  □ 自閉症療育センター will (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
□ ケアホーム とんだ (共同生活援助) 〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室	〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056 [E-mail] will@suginokokai.com
□ ケアホーム みやた (共同生活援助) 〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室	■ こども相談支援センター wish (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
□ レジデンスなさはら(共同生活援助) 〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号	〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056 [E-mail] wish@suginokokai.com
□ ジョブサイトひむろ (生活介護·就労継続支援B型) 〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27 TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222 [E-mail] himuro@suginokokai.com	□ 自閉症療育センター Link (児童発達支援・放課後等デイサービス事業) 〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
□ 高槻地域生活総合支援センター ぷれいす Be (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援) 〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号 TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900 [E-mail] placebe@suginokokai.com 〈短期入所〉TEL (072)681-4720 ■ 生活支援センター あんだんて (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)	[E-mail] link@suginokokai.com  □ ジョブサイトよど(生活介護・就労継続支援B型) 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号 TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015 [E-mail] yodo@suginokokai.com  □ ジョブジョイントおおさか (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援) 〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号 TEL (06)6100 0150 FAX (06)6200 2007
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号 TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900 [E-mail] andante@suginokokai.com ■ 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか	TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007 [E-mail] jj@suginokokai.com □ ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
(発達障害者支援センター事業) 〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号 TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004	〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165 [E-mail] jj@suginokokai.com
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com [URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/	※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会

理事長 中村 節史

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

発行日 2015年1月10日

定価100円